

う観点から、心情面を重視し、個々の生活全体から見た実態把握と個々の行動の背景を十分読み取った実態把握が重要であることを明らかにした。さらに、本人、保護者の願い、医療関係者、教師の願いから複数の教師によるスタッフ会で教育ニーズを焦点化し、学校教育における目標、指導の手立てを設定していくことが、充実した日々の授業を展開するために重要であることを明らかにした。

次年度は、試案として作成した個別の指導計画様式を各障害種別に検討し、作成システムモデルを検証することで、より実際の個別の指導計画の在り方を明らかにしたい。

(3) プロジェクト研究Ⅲ

「コンピュータ教育支援研究 ―データベースソフトを活かした知的障害児のコンピュータ活用に関する研究―」

知的障害教育においては、児童生徒が自らの意思で選び、行動（表現）すること、すなわち自己選択、自己決定の重要性が指摘されている。コンピュータ等の操作を通して、自ら情報を選択し、自らの考えで整理し、自らの意思で表現することは、まさに、この自己選択、自己決定、主体的活動につながるだろうと考える。

そこで、本研究では、児童生徒が自ら選択、決定できるよう、データベースソフト（①進路指導用データベース「進路ちゃんネル」、②コミュニケーション支援データベース「色、イロ、いろ」）を開発、提供し、実際に操作する中で、コンピュータを活用する有用性を協力校との連携により考察し、知的障害児へのコンピュータ活用の有効性と必要性を明らかにした。

2 実践研究

「学習障害（LD）児等に対する支援の在り方に関する研究 ―学習場面における個別教育支援シートの活用―」

LD児等に対して学校と連携を図り、個別教育支援シートを基に特性に応じた対応をするなど、学習場面における具体的な支援の在り方を明らかにしたいと考えた。そのため個別教育支援シートを生かした授業及び授業後のケース会議など実践的な研究により、学習場面での個に応じた指導の手立てを明らかにした。

3 長期研究員研究

- (1) 「多様化する特殊学級での学級経営の在り方に関する研究 ―初めて特殊学級を担任する教師のための参考資料作成を通して―」

長期研究員 圓谷 貴

- (2) 「養護教育に関するコンピュータソフト活用の在り方 ―自己選択できるデータベースの作成を目指して―」

長期研究員 水井 裕行

4 学習指導研究

養護教育担当教員による実践的研究の支援

「こだわりがある生徒の人とのかかわりを広げる指導の在り方 ―興味・関心を生かした教師とのやりとりを通して―」

福島県立平養護学校教諭 神田 豊

第5節 教育図書・資料の収集・提供事業

1 教育図書・資料の収集・整理

(1) 教育図書の収集・整理

教育図書については、養護教育に関する専門図書の充実に努め、本年度 164冊の新規購入及び寄贈の結果、蔵書数は6,665冊になった。その種類は、障害児の教育関係図書が1,221冊、その他の図書が5,444冊である。障害児関係図書については、利用しやすいように障害別（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害等）に配架している。また、本年度から利用者自身が簡単に検索できるデータベースを作成し、利用者の利便を図った。

(2) 教育関係定期刊行物の収集・整理

教育関係定期刊行物については、30種類購入しいつでも閲覧できるようにしている。

(3) 教育資料の収集・整理

全国の関係機関や県内の教育機関の協力により、研究紀要、研究報告書、ハンドブック等の収集に努め、収集した347冊について分類・配架した。県内の資料についても、学校別に分類・配架した。

(4) 養護教育に関するビデオコーナーの設置

養護教育に関心を持ち、正しい理解を図ることを目的として、障害別にビデオテープを用意し、養護教育に関するビデオを自由に視聴できるコーナーを設置した。教育相談に訪れた人達が活用した。

2 教育図書・資料の利用

当センターの研修参加者を含め、県内の養護教育に携わる教職員のみならず、義務教育諸学校の教職員や一般の方々の利用も増加している。利用者は955名、図書・資料の貸出数は578冊であった。

第6節 広報・啓発事業

1 所報「養護教育」（46号、47号、48号）

(1) 内容

提言、特集、願いふれあい、研修ノート（研修講座講義から）、おとなりさんさわやかさん、インフォメーション（教育相談から、図書資料室から、研修から、研究から）

(2) 規格、ページ、部数

- ① 規格 A4判
- ② ページ数 毎号16ページ
- ③ 部数 毎号1,800部

2 研究紀要「第13号」

(1) 内容

プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、(研究の趣旨、研究の構想、研究の目的、研究内容・方法、研究の実際、研究の成